



かわしま



1月号

令和5年1月10日(火)

横浜市立川島小学校



人はなぜ歌をうたうのか

校長 石塚 直実

穏やかに新年が明けました。ナンテンの赤い実が寿ぎ合う人々の気持ちを伝えています。そのそばでは、スイセンの甘い香りが漂っています。「きっといい年になるな」と呟きました。

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。いよいよ2023年の幕開けです。皆様にとって心やすらかなよい年になることを心よりお祈り申し上げます。

さて、本校は令和4年12月2・3日にぐりとりフェス(音楽会)を行いました。皆様方におかれましては、多くのご参観、誠に有難うございました。

当日、4・5・6組は、「ゴーアンドストップ」という題名でストーリーを自分たちで創りあげ、音楽で表現しました。その豊かな表現に引き込まれました。

1年生は初めての、ぐりとりフェス。「エイヤー！」と元気な掛け声で『青い空に絵をかこう』を歌いました。『音のマーチ』では、いろいろな音が表現され素敵でした。

2年生の『WAになって踊ろう』は夢が叶う歌。『森のたんけんたい』はファンタジーいっぱいでした。2年生らしい、子どもらしい心と姿と歌声に、心が温かくなりました。

3年生は、『レッツゴーいいことあるさ』に人への信頼感を込めて歌いました。分かり合える喜びも伝えていました。初めてのリコーダーも素晴らしかったです。

4年生。『この星に生まれて』を歌い上げました。「強く愛を抱きしめて」という歌詞に4年生の愛と絆の強さを実感しました。合奏では心の豊かさが表現されていました。

5年生。『夢の世界を』は、美しいハーモニー。心が美しいのでしょうか。その美しさが歌声に反映していました。「さあ、語り合おう 素晴らしい僕らの世界を」という歌声に6年生になる、最高学年になるという未来を見据えた決意を感じました。合奏もまさにお見事でした。

6年生。まさに最高学年!『The greatest showman』をミュージカルという形で表現しました。「後にも先にも抜かれないものを!」という思いで創りあげました。「自分で自分を生きる」「太陽に手を伸ばす場所、それが自分の居場所」「This is me! これが私!」そう、これが川島小6年生! これが日本一の6年生! これが日本一の最高学年! 「ブラボー!!」と私は叫びました。

終了後、6年生の担任に話を聞きました。「6年生だからできたのではなくて、彼らだからできた」と担任は静かに語りました。1~5年生も同じです。1~5年生になったから自動的にこの「ぐりとりフェス」ができたのではなくて、日本一を目指す川島小の君たちだからできたのだよ!と私は心から思います。

「人はなぜ歌をうたうのか?」その答えを子どもたちが示しました。地球上で唯一歌う存在である人。人がもつ喜びや悲しみや思いや願いなどの豊かな心。それを他者に伝えたくて、自分自身に伝えたくて、幸せになりたくて、人は歌を口ずさみます。川島小の子たちの思いや願いの実現。これが私の本年の願いです。皆様。どうかお力添えをお願い申し上げます!